

〈トリクロホスナトリウム〉

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 1歳 未満	前投薬 (なし)	517.5mg 1日間	<b>呼吸静止</b>	
				投与2日前	発熱あり。
				投与1日前	発熱，口唇発赤，リンパ節触知，発疹みられ，川崎病を疑う。
				投与日	心エコー施術。左冠状動脈φ3.6mm，右冠状動脈φ2.4mm，輝度亢進（±）。 心エコー施行の際，本剤50mg/kg投与し，更に25mg/kg追加投与後に呼吸静止。マスク及びバッグにて呼吸補助するも，自発呼吸はみられず気管挿管。 喉頭浮腫があり，注射用メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウムを静脈内投与。 上肢のつっぱりがあり，けいれんを否定できず，フェニトインナトリウム注射液を低速で静脈内投与。人工呼吸器管理とした。リンパ節触知。発熱，眼球結膜充血，口唇発赤，発疹及び四肢末端変化を発現。ウリナスタチン，注射用メロペネム水和物投与。
				終了1日後	免疫グロブリンG投与開始。注射用メロペネム水和物，ウリナスタチン投与開始。
				終了2日後	心エコーにて輝度亢進，心のう液の貯留あり。冠動脈病変なし。アスピリン投与開始。
				終了3日後	発熱再燃のため，免疫グロブリンを投与開始し，3日間投与。
				終了4日後	脳MRIにて脳梁後角にhigh areaを認め，脳症を疑う。
			終了5日後	心エコー上で輝度亢進，心のう液貯留，瘤形成あり。自発呼吸あり，抜管。 回復。	
併用薬：なし					